

# 問 将来に向け積極的な帰属活動を

## 答 積極的に関わっていく



### 高橋 八重典 議員 やとみ志政会

○名古屋港ポートアイランドの認識と帰属について以下を問う。

**問** 土砂処分場として境界を迎える認識は。

**答** (総務部長) 2020年代前半には受け入れ限界に達する見込み。

**問** 新土砂処分場決定の認識は。

**答** 令和4年2月から護岸工事に着手していることを認識。

**問** 帰属がない認識は。

**答** 関係市村で協議すべきもので、まだ協議に至っていない。

**問** 本市としての状況分析と将来戦略は。

**答** 名古屋港管理組合や関係市村と議論していかなければならない。



▲名古屋港ポートアイランド

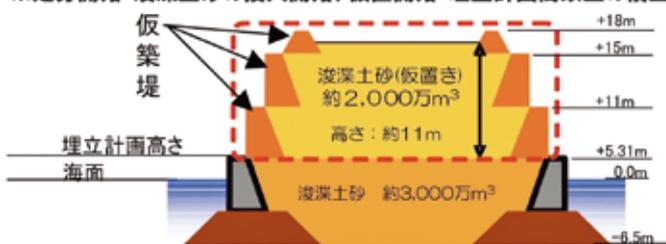
**問** 関係自治体(4市1村)を市長は、本市主導でまとめていく気持ちを持っているか。

**答** (市長) 協議の場が出来たら本市の主張を訴えていく。

**問** 市側と市議会は、共通認識を持ち取組むべきでは。

**答** (総務部長) 情報共有しながら共に取り組んでいきたい。

※処分開始: 浚渫土砂の投入開始、仮置開始: 埋立計画高以上の積上げを開始



**問** 利活用素案を取組め

**答** 本市の主張を訴えていく

○名古屋港管理組合が示す「ポートアイランドの利活用素案」から以下を問う。

**問** 物流機能イメージでの名古屋西部地区背後地利用の位置づけの率直な感想は。

**答** (市長) チャンスが生まれると考えている。

**問** 産業機能イメージの中で「新産業拠点の形成を目指す」としているが本市の捉え方は。

**答** (総務部長) 本市の更なる発展につながると考える。

**問** 現段階で、本市にとって何がベストで、利活用に何を描くか。

**答** 国・県・名古屋港管理組合等と連携や意見交換を行っている。

**問** ポートアイランドの帰属と利活用の総括を。

**答** (市長) 関係市村などと協議の場が出来たら、本市の未来につながるよう意見を述べていく。



▲新土砂処分場 (セントレア)